FUJIFILM

instax ワイド100 インスタントカメラ

使用説明書・保証書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書には、フジフイルム インスタントカメラ instax ワイド100の使い方がまとめられています。内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

FUJIFILM 保証書

製品名	インスタントカメラ instax ワイド100
ご購入年月日	年　月　日
ご購入者	TEL
ご住所	
店名印	

Printed in China

BB07504-104　FGS-991111-Ni-05

製品保証規定

1. 保証の内容
ご購入後3年以内に万一この製品が故障したときは、この保証書を添えてお買い上げ店または弊社サービスステーションにお届けください。無料で修理いたします。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましては、通常の輸送方法と異なる方法をとった場合(定期便以外を使用した場合)は一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は保証期間中でも上記1.の保証規定は適用されません(修理可能の場合は有料で修理をお引き受けします)。
イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のない場合。
ロ. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合。
ハ. フジサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
ニ. 火災、地震、および風水害などの天災による損傷、故障。
ホ. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
ヘ. 本体に付帯している付属品類(ストラップなど)および消耗品(電池類など)。
ト. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
チ. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など)の補償には応じかねます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■ ご注意
1. 本保証書は前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本保証書の表示についてご不明の点は、使用説明書、カタログなどに記載されている弊社営業所、サービスステーションにお問い合わせください。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。購入店または弊社フジサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、下に記載の、お近くの弊社営業所やフジサービスステーションをご利用ください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された、ご購入日より3年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. フジサービスステーション以外での分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損害、故障。
5. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂、泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くのフジサービスステーションにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。
なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くのフジサービスステーションにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店やフジサービスステーションの窓口で、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは6,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合はフジサービスステーションで、お預かりしてから通常7〜10日くらいをご予定ください。

●海外旅行中の故障

海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外支店または各国の富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外支店、代理店の所在地一覧表はお近くのフジサービスステーションにおたずねください。
なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

このようなときは・・・

■撮影中このようなときは・・・

このようなときは	このようなことが考えられます	こうしてください
シャッターが切れない	①電池が消耗している。 ②電池の入れ方が間違っている。 ③充電中表示ランプが点灯している。 ④電源ONで、何も操作をしないで5分以上放置していた。 ⑤フィルムカウンターが “E” になっている。	①電池を交換します。 ②電池を正しく入れてください。 ③消えるまでお待ちください。 ④電源ボタンを押して、電源を入れてください。充電表示ランプが点灯後、消えれば、撮影できます。 ⑤フィルムパックを取り出し、新しいフィルムパックを入れてください。
フィルムが入らない、またはスムーズに入らない	①撮影しようとしているフィルムパックが、このカメラに適合しない。 ②入れ方が正しくない。	①フジフイルムインスタントカラーフィルムinstaxを使用します(他のフィルムは使用できません)。 ②パックとフィルムの黄色の表示を合わせて入れます。
フィルムカバーまたはフィルムが送り出されない	●電池が消耗している。	●電池を交換します。

■仕上がったプリントがこのようなときは・・・

このようなときは	このようなことが考えられます	こうしてください
出来上がった写真が白っぽい	①濃淡コントロールが[LIGHTEN]側にセットされている。 ②撮影時の温度が低い(10℃以下)。 ③背景が被写体より暗すぎる。 ④AE受光窓、またはストロボ受光窓をふさいでいた。	①濃淡コントロールを中央にセットします。 ②撮影前のカメラは暖かい場所に置いてから撮影してください。送り出されたフィルムをポケットの中などで温めます。 ③濃淡コントロールを[DARKEN]側にセットします。 ④AE受光窓、ストロボ受光窓をふさがないように、カメラの構え方に注意してください。
出来上がった写真が暗い	①濃淡コントロールが[DARKEN]側にセットされている。 ②撮影時の温度が高い(35℃以上)。 ③逆光で撮影した。 ④ストロボ発光部がふさがれている。 ⑤背景が被写体より明るすぎる。 ⑥ストロボの光が届かない。 ⑦鏡やガラスなどによるストロボ反射光の影響を受けている。	①濃淡コントロールを中央にセットします。 ②カメラは涼しい場所に置いてから撮影してください。また、送り出された写真は、熱いものの上や近くに置かないでください。 ③順光撮影を行うか、ストロボ強制発光ボタンを押しながら、ストロボ撮影を行ってください。 ④カメラの構え方に注意してください。 ⑤濃淡コントロールを[LIGHTEN]側にセットします。 ⑥被写体から0.9〜3mの範囲に近づいて撮ります。 ⑦鏡やガラスに対して斜め方向から撮ります。
画面がぼんやりしている	①撮影距離が近すぎる。 ②撮影距離切り替えボタンの距離セットが適切でない。 ③撮影レンズが汚れている。 ④手ブレのため。	①0.9m以上離れて撮影します。 ②被写体の距離に合わせて撮影距離切り替えボタンをセットします。 ③レンズをきれいにします。 ④カメラをしっかり構えて、ゆっくりシャッターボタンを押します。
画面にむらがある	①取り出してすぐ写真に圧力が掛かった。 ②写真がスムーズに送り出されなかった。	①画面内を押さえたり、曲げたりしないでください。 ②フィルム出口を指などでふさがないでください。

安全にご使用いただくために

●この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
●製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
●この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告	⚠ 注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警　告

- 絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。
- 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。
- カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。
- ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。視力障害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
- カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。
- 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。
- カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。
- 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。
- 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注　意

- カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、ストロボ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。また、電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- カメラの内側の可動部に触れないでください。けがの原因となることがあります。

〈フィルムの取り扱いについてのご注意〉

このカメラに使用しているフィルムの内部には、腐食性（高アルカリ性）の液が含まれています。フィルムが送り出されてから約10分間および未使用時は、下記の点にご注意願います。

●フィルムを切ったり、引きはがしたり、穴を開けたりしないでください。
●液が目や皮膚などに付くと、視力障害や炎症を起こす恐れがあります。
●特に小さなお子様やペットなどがフィルムに触れないようご注意ください。
万一、このようなことが起きた場合は、ただちに多量の水で十分洗浄した後、医師の診察を受けてください。

取扱上のお願い

■カメラの取り扱い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
2. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
3. レンズ、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。
4. 汚れをふきとるのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
5. フィルム室に汚れやほこりがあると、フィルムを傷つけることがあります。特にカメラ内部の清掃は常に心掛けてください。
6. 閉めきった自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
7. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
8. このカメラの使用温度範囲は+5℃〜+40℃です。

■フィルム、写真の取り扱い

1. フィルムは、涼しい乾燥した場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に、長時間放置しないでください。
2. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く撮影してください。
3. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
4. フィルムは有効期限内にお使いください。
5. 飛行機をご利用の際、撮影前のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内に持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
6. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存をしてください。

＊外から入った異物や、フィルムからもれた液によってローラーが汚れた場合は、フジサービスステーションにご相談ください。

主な仕様

使用フィルム	フジフイルム インスタントカラーフィルム instax
画面サイズ	62×99mm
レンズ	沈胴式フジノンレンズ　2群2枚構成　f=95mm　1:14
ファインダー	実像式ファインダー　0.45倍
距離調節	電動2点切り替え式(0.9〜3m／3m〜∞)
シャッター	プログラム式電子シャッター　1／64〜1／200秒
露光調節	自動調節　連動範囲 LV10.5〜15(ISO 800)　露光補正(濃淡コントロール)±2／3EV
フィルム送り出し	電動モーターによる自動送り出し
ストロボ	低輝度自動発光　オートストロボ(自動調光)　充電時間0.2〜4秒(新品電池使用時) 充電中表示(赤LED点灯)　強制発光可能　ストロボ撮影距離0.9〜3m
液晶表示	フィルムカウンター(残数表示式)　撮影距離指標
電源	単三型アルカリ電池(LR6)1.5V 4本　撮影可能パック数:約10パック(当社試験条件による)
その他	フィルムパック確認窓付
大きさ・重さ	171.5×91.5×119.5mm　650g(電池、ストラップ、フィルム別)

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

FUJIFILM　富士写真フイルム株式会社

●本製品についてのお問い合わせは…
富士フイルム札幌営業所　〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館　TEL(011)241-7164
富士フイルム仙台営業所　〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル　TEL(022)265-2121
富士フイルム東京販売部　〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30　TEL(03)3406-2387
富士フイルム名古屋営業所　〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル　TEL(052)203-5262
富士フイルム大阪支社　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11　TEL(06)6205-6421
富士フイルム広島営業所　〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター　TEL(082)256-3311
富士フイルム福岡営業所　〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1　TEL(092)281-0232

●修理の受付は…
札幌フジサービスステーション　〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館　TEL(011)222-3973
仙台フジサービスステーション　〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル　TEL(022)265-2149
東京フジサービスステーション　〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル　TEL(03)3436-1315
東京／富士フォトサロン　〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 スキヤ橋センター　TEL(03)3571-9411
新潟フジサービスステーション　〒951-8067 新潟市本町通7番町1153 本町通ビル　TEL(025)223-7731
金沢フジサービスステーション　〒920-0864 金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡町ビル　TEL(076)263-3466
静岡フジサービスステーション　〒420-0859 静岡市栄町1-5 殖産ビル　TEL(054)255-2465
名古屋フジサービスステーション　〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19　TEL(052)202-1851
大阪フジサービスステーション　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル　TEL(06)6260-0915
大阪／富士フォトサロン　〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル　TEL(06)6346-0222
高松フジサービスステーション　〒760-0015 高松市紫雲町3-1 香西第2マンション　TEL(0878)34-8355
広島フジサービスステーション　〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター　TEL(082)256-3511
福岡フジサービスステーション　〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1　TEL(092)281-4863
鹿児島フジサービスステーション　〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16 公社ビル　TEL(099)226-2515

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京フジサービスステーションは、通常の土曜日(祝日、年末年始、夏期休暇以外)は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。
●大阪／富士フォトサロンは上記休業日のほか、毎月第3水曜日も休業させていただきます。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日〜金曜日　午前9：30〜午後5：00）TEL(03)3406-2981

各部の名称

ストロボ
フィルム出口
ストラップフック
シャッターボタン
ファインダー
ストロボ受光窓
電池ぶた
撮影レンズ
AE受光窓

裏ぶた
裏ぶたロック
フィルムパック確認窓
ファインダー接眼部
ストロボ充電表示ランプ
ストラップフック
フィルムカウンター／撮影距離表示
ストロボ強制発光ボタン
電池ぶた
撮影距離切り替えボタン
POWERボタン（電源）
濃淡コントロール

1 使用するフィルム

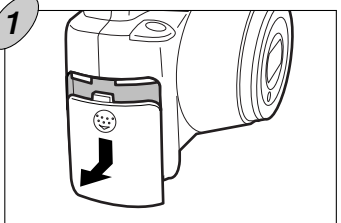
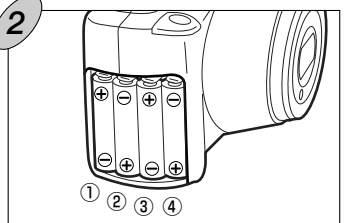
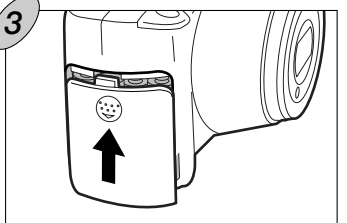
このカメラは、「フジフイルム インスタントカラーフィルム instax（インスタックス）」のみ使用できます（他のフィルムは使用できません）。

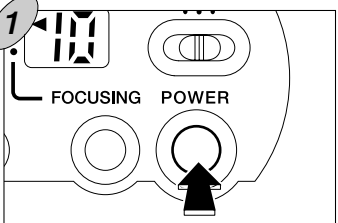
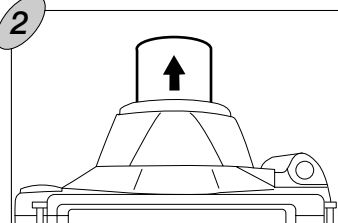
2 ストラップの取り付け

図のように、カメラのストラップフックに取り付けます。反対側も同じように取り付けます。

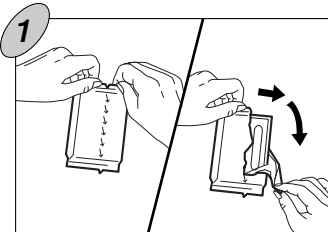
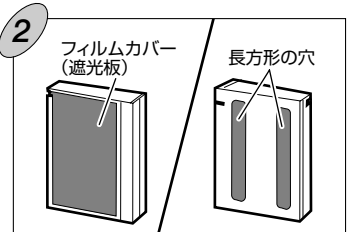
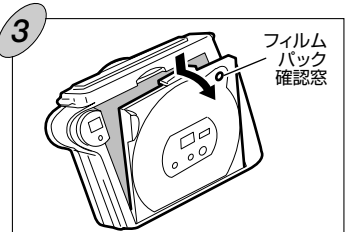
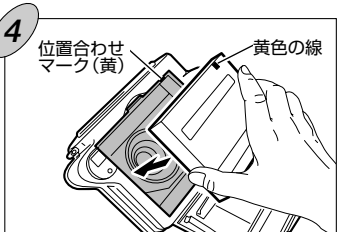
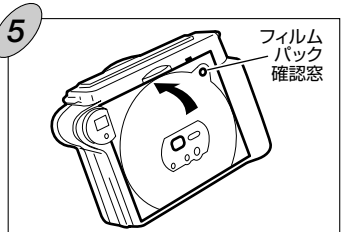
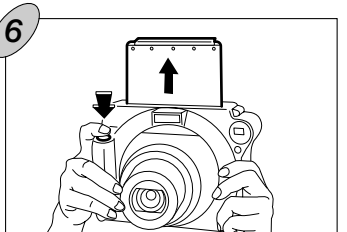
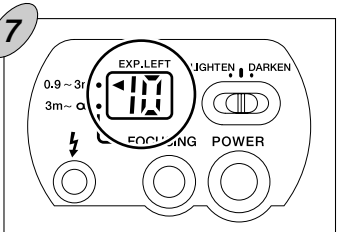
3 電池を入れます

- 単三型アルカリ電池（LR6）1.5V 4本を使用します。
- 新しい電池で約10パック撮影できます（当社試験条件による）。

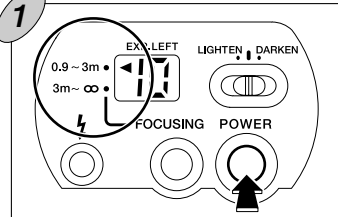
＊Ni-Cd電池は使わないでください。
＊4本共、必ず新しい同じ種類のものをお使いください。
＊マンガン電池（R6）を使用すると、撮影可能枚数が極端に低下しますので、アルカリ電池のご使用をおすすめします。
＊寒冷地では電池の性能が低下します。電池をポケットの中などで温めてからお使いください。

1 電池ぶたに表示されている☺を押しながら、矢印の方向に動かして取り外します。

2 表示に従って⊕⊖の方向を合わせて電池を入れます。①④の2本電池を入れてから、②③の2本の電池を入れてください。また、取り出すときは②③の電池から取り出してください。

3 電池ぶたを図の位置に合わせ、矢印の方向に動かして閉めます。

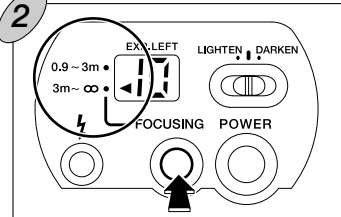
4 電源のON／OFF

1 POWERボタンを押し、電源を入れます。もう一度POWERボタンを押すと電源が切れます。
＊電源を入れるとレンズ部が動きますので、手で押さえないように注意してください。

2 電源を入れるとレンズ部が前進し、ストロボの充電が開始されます。
＊約5分間操作しないと、節電のため自動的にレンズ部が収納され、電源が切れます。

3 ストロボ充電中はストロボ充電表示ランプ（赤色）が点灯し、充電が完了すると消灯します。
＊ストロボ充電中は、シャッターが切れません。
＊ストロボの充電に約30秒以上時間が掛かる場合は、電池が消耗していますので、電池を交換してください。そのまま使い続けると、シャッターが切れなくなります。

5 フィルムパックを入れます

1 内装袋からフィルムパックを取り出します。
＊フィルムパックを内装袋から取り出し、カメラへ装てんするときは、直射日光を避けて行ってください。
＊内装袋を開けたフィルムパックは、できるだけ早く撮り終えてください。また、撮影まで期間がある場合は、内装袋を開けないでください。

2 フィルムカバー（遮光板）　長方形の穴
フィルムパック前面のフィルムカバー（遮光板）および背面の2カ所の長方形の穴は、絶対に押さないでください。
＊フィルムパックには10枚のフィルムが収納されており、1枚の黒色のフィルムカバーで遮光されています。

3 フィルムパック確認窓
裏ぶたロックを押し下げて開きます。
＊フィルムパック確認窓が黄色表示で、さらにフィルムカウンターに数字が表示されているときは、フィルムが残っていますので、裏ぶたを開けないでください。（フィルムカウンターの数字は、電源が入っているときのみ表示されます。）

4 位置合わせマーク（黄）　黄色の線
図のようにフィルムパックの左右を持ち、フィルムパックの黄色の線をカメラ内部の位置合わせマーク（黄）に合わせて、まっすぐ落とし込むように入れます。
＊フィルムパックを入れる前に、必ず電池を入れてください。電池を入れる前にフィルムパックを入れると、フィルムカウンターが誤動作することがあります。

5 フィルムパック確認窓
フィルムパックが正しく入っていることを確かめて、裏ぶたロック付近を押して閉じます。フィルムパック確認窓に見える黄色表示により、パックの入っていることが確認できます。
＊裏ぶたはひといきで閉めてください。途中で止めたり、完全に閉まる前に開け閉めをすると、フィルムが感光する恐れがあります。

6 電源を入れシャッターボタンを押すと、フィルムカバーが排出されるので、取り除いてください。
＊フィルムカバーを排出するまでは、フィルムカウンターの数字は表示されません。

7 フィルムカバーを排出すると、フィルムカウンターにこれから撮影できるフィルム枚数（10枚）が表示されます。
＊フィルムパックをセットした後は、裏ぶたを開けないでください。フィルムが感光する恐れがあります。

6 いよいよ撮影です

近距離（0.9～3m）の場合

1 電源を入れると、撮影距離は[0.9～3m]に設定されます。そのとき液晶表示部の ◀ マークが[0.9～3m]を指します。人物や屋内撮影ではそのまま撮影してください。
＊ストロボ撮影は、0.9～3mの範囲で行ってください。

遠距離（3m～∞）の場合

2 屋外などの遠方の撮影では、撮影距離切り替えボタンを押して[3m～∞]に設定します。レンズが少し引っ込み、液晶表示部の ◀ マークが[3m～∞]を指します。
＊[3m～∞]から[0.9～3m]に切り替えると、レンズ部は一度引っ込み、再び前進します。

いよいよ撮影です

3 普通の撮影では、濃淡コントロールを中央にセットしておきます（濃淡コントロールの使い方は、「8.きれいに写すためのテクニック」の項目をご覧ください）。

4 カメラを図のように両手でしっかりと構え、ファインダーをのぞいて構図を決めます。
＊指やストラップなどが、ストロボやストロボ受光窓、撮影レンズ、AE受光窓をさえぎらないように注意してください。
＊フィルム出口を指などでふさがないように構えてください。

5 ストロボ充電表示ランプ（赤色）が点灯していないことを確認して、静かにシャッターを切ります。暗いところでは自動的にストロボが発光します。
＊ストロボ充電表示ランプ（赤色）が点灯中はシャッターが切れません。
＊ストロボ撮影は0.9~3mの範囲で行ってください。

6 シャッターボタンから指を離すと、フィルムが送り出され、フィルムカウンターの数字が変わり、残っているフィルムの枚数を表示します。
＊フィルムが送り出されるときに、フィルム出口を指などで絶対にふさがないでください。

7 フィルムを取り出すときは、モーター音が止まってから、フィルムの先端を持ってフィルム出口から取り出します。
＊撮影したフィルムはその都度、取り出してください。

8 撮影したばかりのフィルムを折り曲げたり、画面内を手で押さえたりしないでください。写真にむらが生じる恐れがあります。また、折り曲げや傷の原因となりますので、フィルムを振らないでください。

● 写真の仕上がり

このフィルムは、10℃から35℃の温度でご使用いただくと、よい写真が得られます。気温が低いところでの撮影の際は、カメラから送り出されたフィルムを、ただちに上着のポケットの中などで約30秒間温めてください。

美しい写真は、
“初めの30秒間の温度”
が大切です。

＊撮影したばかりのフィルムは、熱い砂やコンクリートの上、ストーブの近くなどに置かないでください。また、画像が出来上がるまでは直射日光を避けてください。

7 フィルムパックを取り出します

1 10枚のフィルム（1パック）を撮影し終わると、フィルムカウンターに “E” が表示され、シャッターが切れなくなります。
＊フィルムカウンターの数字は、周囲に書いてある文字と同じ方向から見てください。

2 裏ぶたを開き、フィルムパック背面の穴に指を掛けて取り出します。

8 きれいに写すためのテクニック

- 写真の濃淡の度合いは、周囲の明るさの状態や気温などによって影響されます。
- 出来上がった写真の濃淡の度合いにより、下表のように調節してください。

出来上った写真	濃淡コントロール
白っぽい（淡い）	➡ “DARKEN” 側へ
暗い（濃い）	➡ “LIGHTEN” 側へ

■ 撮影条件に合わせて、濃淡コントロールを上手に使いましょう。

LIGHTEN DARKEN
被写体が白っぽく写ったときには、つまみを[DARKEN]側にセットしてください。

LIGHTEN DARKEN
被写体が暗い感じに写ったときには、つまみを[LIGHTEN]側にセットしてください。

きれいに写すためのテクニック

LIGHTEN DARKEN
被写体に比べて、背景が極端に暗いときは、被写体が白っぽく写ることがあります。このようなときは、つまみを[DARKEN]側にセットして写してください。

LIGHTEN DARKEN
被写体に比べて、背景が明るいときは、被写体が暗い感じに写ることがあります。このようなときは、つまみを[LIGHTEN]側にセットして写してください。

■ 逆光撮影のときは…

逆光撮影や晴天の木陰などでは、被写体が影になり、黒っぽく写ることがあります。このような場合は、ストロボを強制発光することで、黒っぽく写ることを軽減することができます。

ストロボを強制発光させるには、**ストロボ強制発光ボタンを押しながら**シャッターを切ります。
＊ストロボ撮影は0.9~3mの範囲で行ってください。

■ ストロボを上手に使うには…

鏡やガラスなど、光を反射させるものがあるときは、少し斜めから写すなど、反射光がカメラに入らないように工夫しましょう。

二人以上の人物を撮影するときは、カメラからそれぞれの人物が同じ距離に並んで、均等にストロボ光が当たるようにして撮影しましょう。

9 便利に楽しくお使いいただくために

出来上がった写真の焼き増し/引き伸ばしをすることができます。お近くの写真店で “チェキプリント” とご相談ください。

写真の余白には、メモ欄がついています。水性以外の筆記用具で書き込みができます。